

『管理栄養士の国家試験に一言申し上げたい： 合格率が他の職種に比べて低すぎる！』

2024年度末の3月。世間では何があったかなあと振り返ると、東北大震災から14年、地下鉄サリン事件から30年、が話題になりました。そして、大船渡市の山火事、岡山と愛媛でも山火事など、いやなニュースがたくさんありました。一方では大リーグの開幕戦があり、ドジャーズとカブスの試合で大盛り上がり。プレシーズンゲームで阪神タイガースがカブスとドジャーズに完封勝(どちらも3-0)で世界一だ、なんていう話もありました。大相撲大阪場所もありました。大関 大の里が優勝しましたが、新横綱 豊昇龍は負け過ぎて途中休場。横綱に推荐するレベルが低すぎると私は思っていました。大の里も横綱に近いのでしょうか、堂々とした成績で横綱になって欲しいと思っています。ウクライナ出身の安青錦が新入幕で11勝4敗、敢闘賞を受賞したのですが、もっと注目されるべきです。春の甲子園は、大阪府の高校は選ばれず、私の故郷の愛媛も選ばれませんでした。長崎県の壱岐高校が21世紀枠で選ばれて出場したのはすばらしい。応援団賞の最優秀賞にも選ばれました。受賞理由は「チームを後押しする熱気がすさまじかった」から。結局、高校野球名門校の横浜高校と智辯学園和歌山高校の決勝戦で、横浜が優勝しました。日本のプロ野球も開幕しました。今年はどこが優勝するのでしょうか。楽しみです。

3月8日と9日に第17回リーダーズを横浜で開催しました。14日には千里金蘭大学の卒業式がありました。その翌日、愛媛へ帰省しました。22日には名古屋でニプロPICCとIPエコーの講演会とハンズオンセミナーを開催しました。久しぶりに名古屋城へ行きました。神戸学院大学のHPNセミナーがありました。熱心な薬剤師さんが集まって無菌調製などの実践指導でした。それから、私の著書「カテーテル関連血流感染症—CRBSIの予防と対応」を出版するためのクラウドファンディングプロジェクトをフジメディカル出版が立ち上げました。あっという間に目標金額に到達しました。協力していただいた方に心からお礼を申し上げます。本当にたくさんの方に協力していただきました。実際の本の出版は5月の予定です。よろしくお願いします。このプロジェクトにより、カテーテル感染や静脈栄養への関心が高まって欲しいと思っていますのですが、無理でしょうか。

第17回リーダーズは横浜での開催。横浜は2月に十分に観光したので、今回は無し。当然です。「横浜らしいもの」は、牛鍋と、帰りの新幹線で食べた崎陽軒のシューマイ弁当、だけでした。今回の会長の北河先生は伊勢の出身、伊勢名物の赤福が参加者に振る舞われました。余った？ので、私は5個もいただきました。リーダーズの開会前に「ニプロPICCとIPエコーのハンズオンセミナー」も開催されたのですが、今回も参加者が少ない！もったいない！22日に名古屋でも開催したのですが、この時の参加者は約20人。若い医師の参加がほとんど無し。



↑千里金蘭大学の卒業式、学位授与式です。選ばれた成績優秀者が壇上に。しかし、栄養学部の学生さんもほとんど名前は知らないんです。また、学生さんのお顔はお見せできません。プライバシーの問題で。下右は、退官された金蘭会理事長の島崎靖久先生。第一外科の先輩、剣道部の先輩、です。寂しくなりました。



↑卒業生たちの華やかさがわかる写真です。色とりどりとっていいのでしょうか。後ろから撮影しました。



↑卒業式が終わってからの大学内キャンパスでの写真です。「学位授与式」との立て看板の前での記念写真です。結構、長い時間をかけて並んで記念写真を撮っていました。



↑3月19日の朝、雪が降りました。こんな感じでした。その1週間後には30℃になった地域もありました。1週間で雪から30℃まで変化しますか？変な気候になりました。春と秋が無くなってきたような感じですね。

研修医は何を考えている？無料で、こんなにきちんと PICC 挿入技術を教えてもらえる機会なのに、ほとんど参加しない。これまで、札幌、長崎、東京などで開催しましたが、研修医の参加者は無し。研修医教育が、研修医の考え方が、間違っているとしか思えません。日本の医療はどうなるんだ？

横浜でのリーダーズの参加者は約 120 人。内容は非常に充実していて、議論も活発でした。岡田正メモリアルレクチャーは済生会茨木病院外科の木許健生先生で、肝臓外科医として、そして、その後、臨床栄養にも力が入っているという講演でした。長男の順賀くんが来ていました。一緒に海水浴や六甲山登山に行った時はまだ小学生でした。翌日のランチョンセミナーは沼津はまゆう病院の飯塚堯先生。函館五稜郭病院で目黒先生に巡り合ってリーダーズや JANVIC で育った若手医師。飯塚君、ここまで成長してくれたのか、これからもがんばって、という雰囲気です。座長をさせていただきました。いい講演でした。優秀演題賞(中井賞)は、名古屋の杉本先生。今回は医師の演題が 30 題中の 16 題で、評価の上位はほとんど医師。その中で、3 番目に評価が高かったのが福井県立病院の管理栄養士の鈴木さん。中井賞発表の段階で、ふと思いついて、鈴木さんにも中井賞をもらってもらうことにしました。理事会での承認も得ていないのに、代表理事の一存で決めてしまいました。第 16 回の中井賞も福井県立病院の管理栄養士の田中さん。すっかり NST 活動をしながら、学術的にもがんばっていることの証明ですね。今回は小児関連の演題も多くて盛り上がりました。血管内留置カテーテル管理研究会 JAN・VIC 関連のセッションも作ったのですが、いい演題が発表されました。次回も、JAN・VIC セッションを作りますので、演題を出してください。CV ポート関連の演題が集まるのではないかと予想しています。

千里金蘭大学の卒業式は「学位授与式」。華やかでした。袴姿で、髪も結って、と表現すればいいのでしょうか。私は「元気でな、がんばってな」とあっさりしたものでしたが、学生にとっては、ものすごく大事な日だったはず。自分の大学の卒業式にも行かなかった私には、よくわかりませんでした。当大学としては、次年度に向けての活動が大事です。3 月 23 日には早速、第 1 回のオープンキャンパス。森永乳業クリニコにお願いして、流動食・ゼリーの試食・試飲もしていただきました。参加した高校生、親御さん、「こういう流動食などはおいしくないと思っていたのに、おいしい」とっていました。イメージが変わったとのこと。こういう教育をしているのですよ、是非、当大学に来てください。でした。27 日には当大学：金蘭会の理事長、島崎靖久先生の退職記念パーティ。私は剣道部の後輩、第一外科の後輩。一緒に学食で昼飯を食べることがなくなるのが寂しい！長い間、ご苦労様でした、ありがとうございました。そして、3 月 28 日、管理栄養士国家試験の合格発表がありました。全体での合格率は、なんと、48.1%でした。



↑ 3 月 23 日、2025 年度最初のオープンキャンパスです。高校生のみなさん、大歓迎です。なんと、ガチャポンも。相手は子供だ！と私は思わざるを得ませんでした。これって大学？森永乳業クリニコに協力していただいて、濃厚流動食・栄養補助食品の試飲・試食もしていただきました。クリニコの小林さん、中島さん、ありがとうございました。



↑ オープンキャンパスでの、栄養学部の紹介用パネルです。私は静脈栄養・経腸栄養の器材も展示しましたが、興味を持ってくれる生徒さん、親御さんはいませんでした。この私が、生徒さん、親御さんに営業活動をしているのです、信じられないでしょう？



↑ 久しぶりに掃省しました。いつもの写真ですが、今回はちょっとアングルを変えて撮ってみました。平地がないんです。斜面に家が建っているのがわかります。子供の頃は、浜から石段を登って、家々の一番上にあるバス停まで上っていました。しかし、今は、浜辺にまで巡回バスが来るようになっています。



↑ 春の選抜高校野球甲子園大会で最優秀応援団賞を受賞した青岐高校の応援席。よかったなあと、私も「陸の孤島」と呼ばれた地方の出身だから、自分のことのようにうれしく思いました。

ゼン先生：今回は、何を話題として取り上げようかと少々悩んでいます。

小越先生：3月はいろいろあったんだな。

ゼン先生：ありましたね。いいことも悪いことも。岡山市と今治市の山火事は、大変でした、としか表現できませんね。岩手県の大船渡市の山火事もすごかったのですが、とにかく、人の力では消し止められなくて、雨が降らないと消火できない、自然の力を感しました。雨が大事！です。

小越先生：当たり前のことなんだけど、地球温暖化が原因でこういう問題がどんどん起こるんだよ。トランプ氏は地球温暖化は問題ない、化石燃料をどんどん使うと言っている。わかってないことはないだろうが。

ゼン先生：ロシア、ウクライナ、イスラエル、パレスチナの戦争も終わりません。

小越先生：トランプ氏は、自分のために停戦活動をしているんだから、なかなかうまくいかないだろう。

ゼン先生：本当にそうですね。日本の国会もグジャグジャになっているようです。石破総理、大丈夫かなあ。

小越先生：困ったことだ。ところで、アメリカの大リーグの開幕戦が日本で開催されたんだろう？

ゼン先生：ドジャーズとカブスの試合で、日本人大リーガーが5人出場するというので大盛り上がりでした。

小越先生：そうか。君も興味津々だったんだろう？

ゼン先生：いやあ、どうでもいいでしょう。それより日本のプロ野球、高校野球にもっと興味を示して欲しいとつくづく思っています。テレビ局もどうかしていますよ。

小越先生：そういうのを天邪鬼というんだ。日本人の大多数がドジャーズ、というか、大谷翔平選手を応援しているのに、興味がないなんていうやつは天邪鬼だ。

ゼン先生：そんなことはないでしょう。私と同じように思っている人もたくさんいるはずですよ。大谷選手はコマーシャルにもたくさん出ています。出過ぎです。テレビに大谷選手の出ない日はない、そうじゃない、時間帯はない、ですよ。NHKのスポーツニュースも「まずは大リーグから」です。大相撲、高校野球、プロ野球を取り上げて、時間が余ったら大リーグ、そうすべきです。大谷選手を始め、日本人大リーガーを応援していますよ、私だって。でもね、日本国内を優先すべきだと思います。大谷選手は出過ぎです。

小越先生：君の気持ちもわからなくはないが。

ゼン先生：日本のプロ野球が大リーグへの予備群みたいになっているのも気に入らないんです。

小越先生：そうか、まあ、君の勝手だけだな。

ゼン先生：それはそうとして、急に桜が咲き始めました。変な気候ですよ。3月なのに30℃を超えたりしているし、その1週間前には大阪でも雪が降りました。

小越先生：本当だな。とにかく地球温暖化の影響は大きいな。



↑ 第17回リーダーズ学術集会在横浜で開催されました。左は3月8日の写真。寒くて、雪が降りました。曇ですね。翌3月9日は快晴でした。冬の翌日が春、そんな感じだったのです。



↑ 会長の北河先生のにこやかな開会のご挨拶です。右は質疑応答の写真です。4人が並んで、順番を待っています。この雰囲気こそが学術集会です、リーダーズです。



↑ 岡田正メモリアルレクチャーの木許先生です。すばらしい講演でした。日本初の生体肝移植の担当だったという話から、現在実施している臨床研究まで、非常にアカデミックな講演でした。楯を渡している時の写真、写真としてはいまいちですけど、記念写真ですからね。



↑ 森永乳業クリニコさんとニプロに、岡田正メモリアルレクチャーとランチョンセミナーの共催をしていただきました。本当にありがとうございました。藤本製薬、ニュートリー、ニプロに展示をしていただきました。左は、その4社の企業プレゼンです。本当にありがとうございました。おかげで第17回リーダーズ学術集会在開催することができました。次回の声屋でもお願いします。

ゼン先生：大きいです。そうそう、リーダーズ学術集会在開催された横浜でも雪が降ったんです。

小越先生：3月8日だったな。

ゼン先生：そうです。翌日は快晴でしたけど。

小越先生：リーダーズはどうだった？盛り上がったんだろう？

ゼン先生：はい。いい学術集会だったと思います。会長の北河先生も非常に喜んでいました。

小越先生：そうか。小児関連の演題も多かったんだろう？

ゼン先生：そうですね。筑波大学小児外科の増本教授も久しぶりに来られました。座長をしていただきました。

小越先生：敦賀にも来てくれていたんじゃないか？

ゼン先生：敦賀の時は顔見世程度でしたけど。でも、久しぶりでした。筑波大学からも演題を出してもらいました。北河先生の神奈川県立こども医療センターからの演題は5題。栄養管理に力が入っていることがよくわかりました。それから、来年の3月の第19回の会長をしていただく、総合犬山病院からの発表もあったし、7人でしたか、参加していただきました。懇親会費用も病院が出してくれたんだそうです。

小越先生：へええ、それはすばらしい。

ゼン先生：第19回リーダーズ学術集会は犬山市でやりたいと齋藤先生が言っておられます。

小越先生：それは面白いんじゃないか？とにかく、少しずつ臨床栄養仲間が増えていると考えていいんだな。

ゼン先生：そう単純には受け入れられません。全体としての参加者数は増えていませんから。

小越先生：確かに。君が目標としている200人までは遠いか？

ゼン先生：遠いですね。次は兵庫県芦屋市での開催です。200人に近づいて欲しいんですけど。

小越先生：悲観的にならずに期待しよう。

ゼン先生：そうですね。

小越先生：千里金蘭大学は卒業式があったんだろう？

ゼン先生：はい。栄養学部も70人ほどが卒業しました。

小越先生：女子大だから、華やかなんだろう？

ゼン先生：そうなのでしょう。

小越先生：君も若い女性が着飾った姿を見るのはうれしかったんじゃないか？

ゼン先生：え？なぜうれしいんですか？

小越先生：ふつう、うれしいだろう。

ゼン先生：別に、特別には何も感じませんでした。

小越先生：朴念仁だなあ。

ゼン先生：なぜ卒業式に袴姿になるのか、理解できませんし、特別に着飾る必要があるのかも理解できませんから。

小越先生：つまらん奴だなあ。卒業研究ゼミの学生、6人は挨拶に来たのか？

ゼン先生：3人が研究室へやってきて、一緒に写真を撮りました。そうそう、一人、鳥取から来ている学生に花をもらいましたし、ご両親も来ていて、お土産をもらいました。

小越先生：それはうれしい話じゃないか。

ゼン先生：はい。私が役に立った学生もいたんだなあ、と思いました。

小越先生：よかったな。そうそう、管理栄養士国家試験もあつ



↑ 演者、座長、質疑応答の方達の写真です。みなさん、堂々としていきます。それだけでなく、にこやかな質疑応答もありましたし。



↑ 左はランチョンセミナーの飯塚先生。非常にすばらしい講演でした。これまでの生き方、これからの生き方を淡々と述べられました。がんばれよ、応援しているから。最後に、次回の会長：野呂先生（10月4日5日、兵庫県芦屋市で開催）と、今回の会長：北河先生から挨拶があり、無事、閉会となりました。いい学術集会となりました。北河先生、ご苦労様でした、ありがとうございました。

たんだな。

ゼン先生：ありました。合格率もわかりました。全国の合格率は

48.1%です。

小越先生：え？そんなに低いのか。

ゼン先生：そうなんです。先生、知らなかったんですか？

小越先生：知らなかったよ。昨年にもそんなに低かったのか？

ゼン先生：はい。昨年は49.3%でした。

小越先生：管理栄養士国家試験は結構難しいと聞いていたが、合格率が5割以下なのか。大変な数字だな。

ゼン先生：そう思うでしょう？まあ、管理栄養士養成課程を終えた新卒の合格率は80%なんですけど。

小越先生：え？それじゃあ、なぜ5割以下になるんだよ。

ゼン先生：既卒の合格率は11%、栄養士養成課程を卒業しての合格率も11%なので、です。

小越先生：へええ。既卒や栄養士養成課程卒業生の合格率って、すごく低いんだな。合格率が1割？

ゼン先生：そうなんです。ものすごく低いんです。それをどう解釈すればいいのか、わからないんですが。集中的に勉強しないと合格できない、ということなんでしょう。

小越先生：まあ、そうだろう。しかし、国家試験の合格率って、そんなに低い職種があるのか。オレは医師国家試験しか知らないけど、合格率は9割以上だろう？

ゼン先生：そうですね。今年度の医療関係の国家試験の合格率を全部、調べてみました。管理栄養士国家試験の合格率がダントツに低いんです。

小越先生：本当だな。医師が92.3%、看護師が90.1%か。非常に高いじゃないか。薬剤師は68.85%か、ちょっと低いけど、7割近い。管理栄養士の50%以下とはずいぶん違うな。

ゼン先生：これでいいのだろうか、私、真剣に考えています。

小越先生：考えてもどうしようもないだろう。

ゼン先生：そう言われたらそうなんです。でも、受験する人たちがかわいそうだと思うのは、おかしいですか？

小越先生：ふつうに考えたら、もっと気合を入れて勉強しなさいよ、となるんじゃないか？それと、受験者のレベルが低いと言われるかもしれない。

ゼン先生：本当にそうなんですか。薬剤師は少し低いのですが、他はすべて70%以上です。これらのたくさんの職種の中で、管理栄養士国家試験を受験する人たちのレベルが低いとは言えないんじゃないでしょうか。

小越先生：そう言われたら、そうかもな。

ゼン先生：国家試験って、ある一定基準以上だったら合格するんでしょう？合格率って、少なくとも6割以上になるような試験にしなければならないんじゃないでしょうか。

小越先生：君は、試験問題が難しすぎるから合格率が低いんだと言うのか？

ゼン先生：そう思っています。合格率が低くても7割程度になるような試験問題にしないとイケないと思っています。

小越先生：試験問題をやさしくすると、管理栄養士のレベルが



↑ 懇親会の写真です。今回は料理が多すぎました。量が。結構、こういうケータリングは高いんです。一人前は●●●●円ですが、リーダーズとして補助したので、かなり安くさせていただきました。だから、学会運営は赤字です。



↑ 懇親会では、いろいろな話を聞かせていただきました。みなさん、にこやかでしょう？楽しい懇親会でした。一番楽しそうなのが北河先生でしたね。



↑ 北河先生にごちそうしていただいた、伊勢名物：ほまれの赤福です。私、5個も食べさせていただきました。



↑ 左から：最優秀演題（中井賞）の杉本医師。論文賞の奥管理栄養士。二人ともうれしそう。同じく論文賞の北河医師、檀上で楯の文言をにこやかに読んでいます。中井賞の鈴木管理栄養士。この写真は、前回の中井賞（福井県立病院の田中管理栄養士）の楯を代わりに受け取った時の写真。みなさん、本当にうれしそう。がんばった人には喜んで欲しいのですよね。

下がるんじゃないか？

ゼン先生：それだったら、合格率が9割もある医師や看護師の国家試験って、試験として簡単すぎるということになりませんか？医師や看護師のレベルは低いんですか？

小越先生：ううん、そういう考え方もあるか。

ゼン先生：どの職種の学術レベルが高いとか、そういうことを言うつもりはありませんが、管理栄養士国家試験を受ける人のレベルが、他の職種に比べてダントツに低いとは思えないでし

よう。

小越先生：なるほど。その考え方でいくと、管理栄養士国家試験問題は難し過ぎるということになるな。

ゼン先生：そう思っています。7割くらいが合格できるようなレベルにしなければならないと思っています。

小越先生：そういうことは、管理栄養士達は大きな声では言えないだろうな。君が管理栄養士ではないから言えるんだろ。

ゼン先生：そうかもしれません。ある意味、部外者ですから。

小越先生：こんなことを言うと、試験問題を作成している人たちが怒るんじゃないか？

ゼン先生：怒るかもしれません。でも、管理栄養士は、自分で自分の首を絞めていることになると思ったりしますが、間違っていますか？

小越先生：そうか？それは違うんじゃないか？合格率が低いから管理栄養士になる人が少ない。少ないほうが、管理栄養士になっている人達の価値が上がる、そうなんじゃないか？

ゼン先生：自分達の価値が上がる？それは違うでしょう。管理栄養士の資格を持っている人って、何万人もいるんですよ。

小越先生：しかしな、難しい試験を通過しているんだぞ、というプライドは保てるぞ。

ゼン先生：そんなことを考える必要はないでしょう。

小越先生：そう考える人がいるのは間違いない。

ゼン先生：確かに、管理栄養士と栄養士は職業として違うと言っていた管理栄養士がいました。

小越先生：だろう？管理栄養士としてのプライドっていうものがあるんだよ。

ゼン先生：でも、管理栄養士だって自分達のことを「栄養士」と自称していますよ、人に話をする時は。学会なんかで前に出ている人たち、「われわれ栄養士は」って、たぶん、無意識なんですよけど、言っています。

小越先生：ははは、その傾向はあるな。管理栄養士って、長いから言いにくいんだよ。

ゼン先生：これは、ある意味、冗談に近い話なんですけど。

小越先生：それに、栄養士と管理栄養士の違いをわかっている人も少ないんじゃないか？

ゼン先生：それはそうかもしれませんね。医師に栄養士と管理栄養士の違いを聞いても、ちゃんとわかっている医師は少ないと思います。ほとんどわかっていないんじゃないでしょうか。でも、病院で働く場合には、管理栄養士でないとできない仕事がありますからね、違いは非常に明らかなんですよね。

小越先生：その通りだ。

ゼン先生：こんなに国家試験の合格率が低いと、管理栄養士になりたい、管理栄養士になって病院で働きたいと思う学生が減るんじゃないかと心配なんですけど、どうでしょうか。

小越先生：なるほど、そういう考え方もあるか。

ゼン先生：それに、就職問題もあるんです。病院管理栄養士にな



↑ 3月22日、名古屋でIPエコーとPICCのハンズオンセミナーを開催しました。私、早めに名古屋へ行って、名古屋観光をしました。天守閣は工事中で入れませんでした。犬山からの展示ブースがあり、わん丸くんと記念写真を撮りました。左は、名古屋ですから「ひつまぶし」と「う巻き」です。さすがにうまかった！



↑ 神戸、三宮の駅から神戸学院大学までは徒歩で行きました。1時間ほどでした。神戸大橋も歩いて渡りましたが、結構、海面から高いので、怖い。高所恐怖症の私は、橋の左端を歩いて渡りました。こういう景色を見ながらでした。



↑ 神戸学院大学のキャンパスは、こんなに素敵なんです。キャンパスのすぐそばに神戸港が見渡せるプロムナードがあるんです。授業を抜け出して散歩したくなります。そうそう、釣りもできます。こんな素敵なキャンパスで過ごせば、きっと勉強もやる気になります。え？逆？別のことにやる気が出る？

りたいと思っけていても、就職も難しいんです。新卒の管理栄養士を採用する病院は少ないし、採用が決まるのも遅いんです。給食などの企業に勤める場合、早ければ3年生のうちに就職自体が決まります。

小越先生：確かに、そうだな、そう聞いている。

ゼン先生：その段階で病院で勤めたいと思っている学生の気持ちに萎えるんです。

小越先生：本当だな。友達が給食関連企業などに就職の内定をもらっている、自分は病院に勤めたいから就職が決まらない、もういいか、病院はあきらめよう、そんな学生が多くなる可能性があるな。

ゼン先生：さらにですよ。内定をもらっていても病院に就職し

たいとがんばって、10月や11月、遅ければ年が明けてから決まる。そうすると、内定をもらっている企業に断る必要があります。企業は、当人だけでなく、就職を斡旋している大学にも苦言を呈するんです。もう来年は採用しません、なんていうこともあります。

小越先生：なるほど、そういうこともあるな。

ゼン先生：結構重大な問題だと思います。診療報酬改定で、管理栄養士を採用したいと思っている病院も増えています。管理栄養士の病棟配置、これは病院に今より多くの管理栄養士を採用しなければならない、ということなんです。

小越先生：確かにそうだ。仮に、病院に内定をもらっても、国家試験に合格できるか、不安だな、その合格率だと。

ゼン先生：新卒の合格率は8割もあるじゃないかと言う人もいるかもしれませんが、2割は不合格なんです。医師や看護師の合格率は9割、いや、新卒は95%以上なんです。この差は大きいと思います。

小越先生：その通りだな。医師、看護師と管理栄養士の合格率の違いは大きい。

ゼン先生：もちろん、がんばって勉強しているはずですが、でも、不合格になる学生がいるんです。病院に内定をもらっていても、国家試験に合格できなければ採用してもらえません。

小越先生：そういう風に考えると、他の職種に比べて国家試験合格率が極端に低いのは問題だな。

ゼン先生：わかっていただけましたか？

小越先生：わかった。しかし、どうすればいいんだろう。

ゼン先生：国家試験問題を改善してもらう必要があります。どうすればいいの？ 重箱の隅をつつくような問題を避けて、オーソドックスな問題にする、答えが判断しにくい問題をなくす、そういうことなんじゃないかと思えます。

小越先生：国家試験問題自体を見直せと言いたいんだな。

ゼン先生：そうです。とにかく、このままでは、がんばって勉強して管理栄養士になりたいという学生が減ります。

小越先生：NHKの朝ドラ「おむすび」は管理栄養士の話だったけど、あれで栄養士や管理栄養士になりたいという人は増えたんじゃないか？

ゼン先生：増えていないんじゃないでしょうか。増えたという話は聞いていません。それに、朝ドラとしては視聴率は歴代最低だと聞いていますけど。

小越先生：しかし、栄養士が主役となった朝ドラは初めてなんだろう？

ゼン先生：そうです。中村丁次先生が監修していました。そうそう、西口くんも医事監修で名前が出ていました。

小越先生：主人公は専門学校を卒業して栄養士になり、そして管理栄養士になったよな。

ゼン先生：なりました。簡単になりました。そういうキャリアの人が管理栄養士国家試験を受験した場合の合格率って、1割で



↑ 第4回 Home Infusion 研究：無菌調製講習会での実習です。神戸学院大学薬学部の設備はすごい。無菌室やクリーンベンチなどの設備が揃っています。いい環境で教育ができるようになっています。薬剤師さん、もっと注射や輸液にも長けた薬剤師になってください。

すよ。まあ、ドラマだからでしょうけど、簡単に管理栄養士になりました。

小越先生：そうだな。ものすごく合格率が低いのに、あの主人公はよく合格したな。

ゼン先生：「ギャル魂」でがんばったんだ、というドラマでした。

小越先生：ハッハッハ。君はその「ギャル」って嫌いなんだろう？

ゼン先生：はい、大嫌いです。ギャルが栄養士になる、管理栄養士になる、理解不能でした。

小越先生：君には若い人達の考え方は理解不能だな。

ゼン先生：それは間違いありません。理解不能です。話を戻しましょう。

小越先生：そうだな、すまん、すまん。

ゼン先生：この管理栄養士国家試験ですが、新卒の合格率は80%なんだから、試験自体のレベルには問題ない、と言っているんでしょうか。

小越先生：オレにもわからないけどな。

ゼン先生：その80%は、4年生の段階で国家試験のための勉強を繰り返しても合格できそうもないと大学が判断した学生は受けさせない、その結果としての80%です。そんな方針の大学が結構な数、あるらしいんです。どのくらいの大学がそういう方針で国家試験対策をしているのかは知りませんが。

小越先生：そうなんだろう。1年間、国家試験に没頭して勉強しないと通らないだろう。既卒や栄養士課程の卒業生は、仕事



↑ 第16回の中井賞は福井県立病院の管理栄養士、田中さんでした。勤務の関係で横浜へは行けなかったのですが、病院で、NSTメンバーが集まったの記念写真です。優秀なスタッフでレベルの高い栄養管理を実施し、学術活動もしておられるのですよね。発表した演題は論文にしてください。小山さんの論文は機関誌に掲載されましたよ。

の合間にしか勉強できないから合格率は1割程度になる、そういうことだな。

ゼン先生：ということは、やっぱり、問題として難し過ぎるということになるんじゃないでしょうか。ものすごく出題されている範囲が広いのは間違いありません。私も、一応、国家試験問題には目を通していますが、本当に範囲が広い。それは間違いありません。

小越先生：いろんな職場に管理栄養士が必要とされているということなんだな。

ゼン先生：そう思います。それに、他の職種の既卒の合格率と比べても、管理栄養士は極端に低いんです。理学療法士と作業療法士は3割台ですが、他は4割以上です。管理栄養士は1割ですよ。ものすごい差です。

小越先生：なるほど、そこにも他の職種との差があるのか。しかし、管理栄養士が働く場はいろいろで、広い範囲だから試験も難しくなるんだろう。

ゼン先生：そうでしょう。私自身は管理栄養士の仕事のことはよくわからないんですが、なんとか、もう少し、合格率が上がるような対応をして欲しいんです。1年間、受験勉強に没頭しないと合格できない、合格率を上げるために受験者を選抜する、そんな方針を採用せざるを得ないって、おかしいんじゃないかと私は思うんですが。

小越先生：いろんな人の意見を聞く必要はあるだろうな。

ゼン先生：確かにそうですね。すみません。今回は非常に的外れの意見を言っているのかもしれませんが、でも、管理栄養士国家試験の合格率がこんなに低いんだということを、多くの方に知って欲しいと思っていて、今回の話題にしました。

職種	全体	新卒	既卒	(%)
医師	92.3	95	59	
歯科医	70.3	84	44.9	
看護師	90.1	95.9	44.9	
診療放射線技師	84.7	92.2	45.1	
臨床検査技師	84.6	94	40.4	
理学療法士	89.6	95.2	31.2	
作業療法士	85.8	92.5	37.8	
薬剤師	68.85	84.96	43.94	48.1 ^{*1}
言語聴覚士	72.9			
管理栄養士	48.1	80.1	11.1	11.7 ^{*2}

*1:旧4年制卒、受験資格認定者
*2:栄養士養成課程卒業、受験資格認定者

小越先生：いいんじゃないか。もう少し、既卒者や栄養士課程卒業の人にも管理栄養士になれる道筋が広がるといいと、私も思っているからな。

ゼン先生：そのためには、新卒の合格率が9割以上になるような試験問題にするべきです。必死で勉強すれば9割以上はとれる。そういう試験問題になれば、既卒や栄養士課程修了者の合格率も、少なくとも3割、4割以上になると思います。

小越先生：なるほどな。そういう改革をして欲しいな。とにかく、君も、管理栄養士養成大学の教官としていろいろ考えるようになったんだな。

ゼン先生：一応、「先生」ですから。

【今回のまとめ】

1. 地球温暖化の影響で、いろいろな問題が起こっています。2025年3月は山火事で大変でした。雨が降らないと消火できない、鎮火させることができないことがよくわかりました。
2. 第17回リーダーズは、横浜で開催され、活発な議論が交わされました。神奈川県立こども医療センターの北河先生、ご苦労様でした。赤福もありがとうございました。
3. 今回は、管理栄養士国家試験を話題として取り上げました。新卒の合格率は80%なので、試験問題はこれでいいということなのかもしれません。しかし、既卒や栄養士課程卒業者の合格率が1割というのは、何か、問題があるのではないのでしょうか。単に受験者のレベルが低いからだとは言えないように思います。
4. 管理栄養士養成課程で1年間、受験勉強に没頭したら8割の合格率になる・・・だから1年間、がんばって勉強しなさい、なのでしょうが。
5. 管理栄養士になって、もっとがんばりたいと思って受験する人に、もう少し希望が持てるようにして欲しいと思う私は、間違っているのでしょうか。
6. 私は管理栄養士ではないので、偉そうに言える立場ではないのかもしれませんが・・・。